

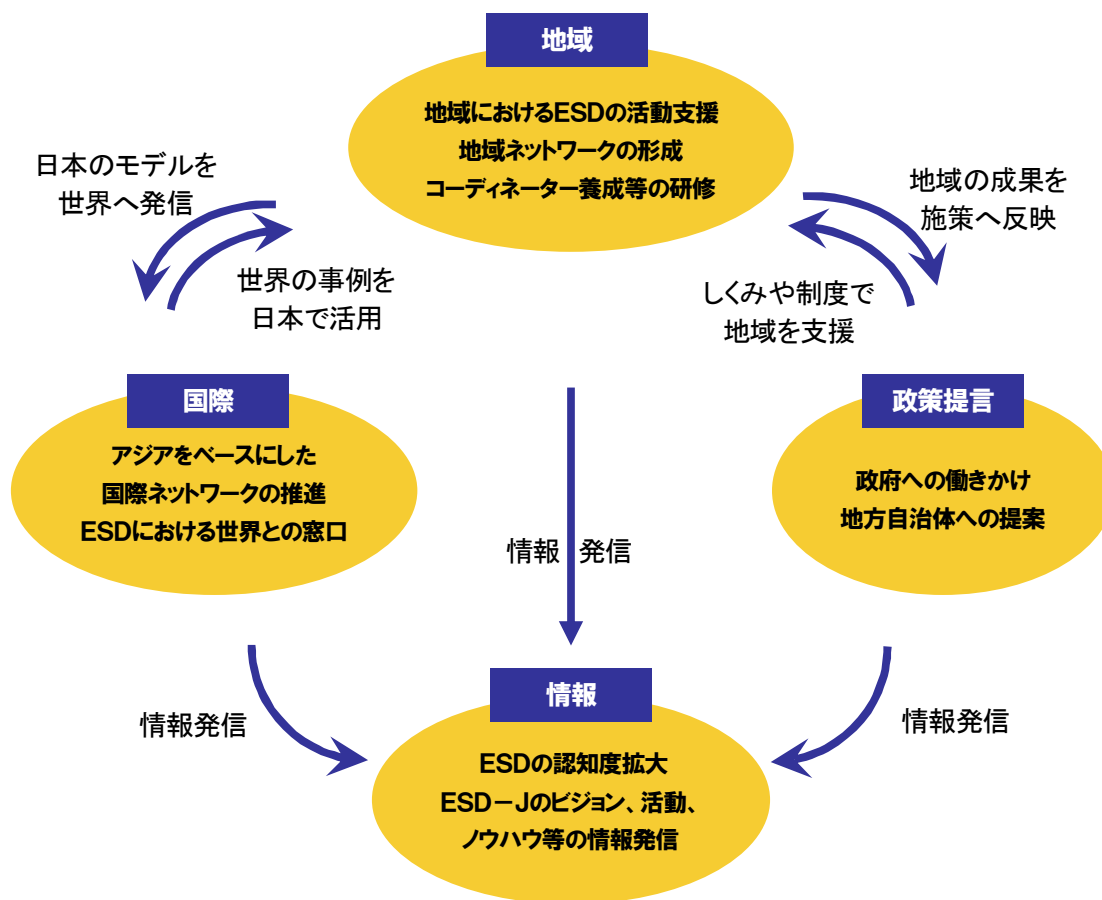
【議案 3】

2007 年度事業計画（案）

<2007 年 4 月 1 日～2008 年 3 月 31 日>

I. 方針

2007 年度は「国および地域レベルの“ESD 推進に必要な支援を提供できる仕組み”を模索し、そのビジョンを形成するための期間」の二年目にあたる。この目標達成に向け、理事会ではそれぞれのプロジェクトチーム (PT) の役割を以下の図のように整理した。(この図では地域 PT と研修 PT はひとつの「地域」の中に表現されている)



そして各 PT は以下のミッションを掲げ、当面の目標を以下に絞り込んで活動を展開していく。

1. 地域ネットワークの形成および交流支援事業

【ミッション】 地域（市・町・村・県・ブロック）で ESD 推進のしくみづくりのサポートをする

【今年度の目標】

- ・意欲的に ESD の仕組みづくりに取り組んでいる地域と協働して、ESD モデル地域づくりに取り組む
- ・ESD 推進自治体のネットワークづくりに着手する

2. 政策提言および調査研究事業

【ミッション】 政府、地方自治体、国際機関等を通じて、ESD を推進するしくみを作る

【今年度の目標】

- ・政府の体制強化と官民による協働推進体制の確立を実現させる
- ・参議院議員選挙に向けた各政党への政策提言や、議員連盟立ち上げ支援を通じて、政策提言に取り組む

- ・環境省 ESD 促進事業・全国事務局の取り組みを通して、ESD 推進に必要な仕組み等を抽出する
- ・政策提言に必要な国内外の ESD の取り組みの調査研究を行う

3. 研修および普及啓発事業

【ミッション】 これまでの成果を生かし、よりいっそうの ESD の理解をすすめ、地域での活動をひろげ、つないでいくための研修および啓発事業を行う。

【今年度の目標】

- ・テキストブックを活用した ESD 入門講座のプログラムを開発し、実施する（主な対象は自治体職員、大学など）
- ・ESD コーディネーターの役割や技能を明らかにし、コーディネーター入門講座の開発に着手する。
- ・理事やスタッフを対象に、マネジメント、政策提言力の向上および評価についての研修を行う。

4. 情報収集・提供および出版事業

【ミッション】 ESD および ESD-J に関する情報の収集・発信を通じて、会員内外へ ESD および ESD-J の理解を促進し、ESD 活動の活性化を図る

【今年度の目標】

- ・地域リポーターの育成等を通して情報収集体制の強化を図り、情報ソースの多様化を実現する
- ・ウェブサイトによる情報提供の強化につとめ、アクセス数を2倍にふやすことを目指す
- ・メールマガジンの発行やウェブの強化を通して、会員外への情報発信の質と量を高めることで、ESD-J の社会的な存在価値を高め、ネットワーク基盤を強化することに努める

5. 国際ネットワーク推進事業

【ミッション】 ESD に関する情報の国際的な受発信の窓口となり、ESD を推進する国際的な NGO ネットワーク（特にアジア太平洋地域を中心として）の形成と促進を図る

【今年度の目標】

- ・AGEPP 事業、英文 web サイトなどを通して、海外の ESD に関する情報の収集・発信や海外への情報発信を充実させる
- ・国際ネットワークカフェや姉妹都市・姉妹校交流事業との連携モデルの検討などを通して、国際的な活動を入り口とした ESD 展開の方向性を模索する
- ・国際的なネットワークづくりの意義や方向性をあらためて検討する

なお、これらの事業を確実に、かつ効果的に実施し、社会へのインパクトを高めるためには、理事および会員の皆さまとの協働が不可欠であり、またそのためにもスタッフ体制の強化が必要である。しかしながら、これらの事業の多くは種まきの段階のため資金の目処が立っておらず、事業を組み立てながら助成金等の資金を確保していく必要がある。一方社会へのインパクトある提案ができなければ資金獲得は難しい。これは多くの NPO がともに抱える大きな課題であるが、ESD-J は今年度を次のステップへの投資の時期と位置づけ、スタッフを一人増員することとする。また、広報活動にも力を入れていく。

そしてさらに、ネットワーク組織としての総力を発揮できるような活動を生み出すべく、会員団体や企業とともに、ESD 推進に関する勉強会を実施し、ESD をより広く進めていくためのプロジェクトを検討していきたい。

II. 事業の内容

1. 地域ネットワークの形成および交流支援事業

1) 地域の ESD モデルづくり協働事業

- ・分野連携シナリオづくりワークショップ研修の実施（1回、7月頃開催）
- ・ESD モデルづくり協働事業の実施（5地域程度）

- 2) 地域の実践交流セミナー（全国ミーティング）の開催
- 3) ESD 推進自治体ネットワークづくりの働きかけ

2. 政策提言および調査研究事業

- 1) 「官民協働による ESD を推進する仕組み」の提言づくり
 - ・提言づくりのための調査・研究（国内および EU、アジア等の動向について）
 - ・提言作りのためのワークショップの開催
- 2) 政府の ESD 推進体制強化に向けた働きかけ
 - ・政府や国会議員との「ESD 対話ミーティング」や「勉強会」の実施
 - ・議員連盟の立ち上げの支援
 - ・参議院議員選挙に向けた各政党への公開質問状提出
- 3) 環境省 ESD 促進事業（全国事務局）
 - ・2 年目実施地域から ESD 推進のポイントなどを引き出し、成果をまとめる
 - ・新たな採択地域（4 地域を予定）のサポートを実施する

3. 研修および普及啓発事業

- 1) ESD 入門研修の開発と実施
 - ・行政職員や教育の担い手に向けた ESD 入門研修を開発し、パイロット的に実施する
 - ・研修は、昨年開発したテキストブックやすでに行ってきた研修をベースに、「講演のみ」「講演とワークショップ」といったいくつかのスタンダード・プログラムを作成する。
- 2) 出前講座・研修・ワークショップの開催
 - ・リクエストベースで ESD 講座の企画、講師の派遣等を行う
- 1) ESD コーディネーター養成研修の開発・実施
 - ・ESD を推進している関係機関と協力しながら、ESD コーディネーターの役割・必要な能力を整理し、コーディネーター養成の入門コースを開発し、パイロット的に実施する
- 4) 大学向け研修の開発と実施
 - ・ESD に関心を持つ大学が急増しているため、大学教員向け研修のコースを開発し、実施する

4. 情報収集・提供および出版事業

- 1) ウェブページの充実
 - ・トップページのリニューアルとコンテンツの充実
 - ・イベント情報の各地方からのアップによる更新頻度の増加とアクセス数の増大化
 - ・情報発信のリアルタイム化
 - ・アクセスログ分析の定期的実施
 - ・地域ポータルサイトの新設
 - ・各種情報のデータベース化など
- 2) メールマガジンの発行
 - ・非会員への情報提供を強化、結果として ESD-J ネットワークへの巻き込みを図る
- 3) 「ESD レポート」の継続発行
 - ・季刊、A4 版、8 ページ、各 6000 部
- 4) 「ESD の 10 年」研修用テキストブック②の制作・販売
 - ・A5 版、40 ページ程度、販売予定価格 500 円
- 1) ESD ブックレット「ESD-J2006 活動報告書」の発行
 - ・地域での協働モデルづくりの成果を中心に作成する

5. 国際ネットワーク推進事業

- 1) アジア ESD 推進事業（Asia Good ESD Practice Project : AGEPP）
 - ・アジア地域における ESD 事例共同調査と 7 ヶ国の実践交流サイト
- 2) 国際ネットワークカフェ
 - ・国際的な ESD 情報の共有と国内の会員間の交流の場づくりを目的として、ミニセミナーを継続的に開催する

- 3) 英文ウェブサイトの充実
 - ・海外の動きを国内へ、国内の動きを海外へ発信する
- 2) 国際機関とのネットワーク作り
- 3) 「姉妹都市・姉妹校と ESD！学び発見・広がる世界！（仮称）」のモデルづくりを検討
 - ・姉妹都市交流・姉妹校交流における ESD の共有・普及を目的として、自治体・NPO・市民と協力してセミナー等を企画し、「姉妹都市・姉妹校と ESD！」のモデルづくりを検討する。
- 6) 国際ネットワーク推進の方向性の検討
 - ・100 を超える団体に構成される ESD-J が、ESD を取り巻くテーマや課題が広義にわたることを共有し、ESD に取り組む海外の組織と何を目的にどのような情報を交換し、各団体の活動に反映させ高め合い、共に ESD を推進していくのか、ネットワーク組織としての活動の在り方を探っていく。

6. その他の事業

- 1) 企業および会員団体等との協働事業の検討
 - ・ESD をテーマに企業や会員団体と ESD-J はどのような協働が可能かを探る研究会を開催

III. 実施体制

1. 役員等

<理事>

代表理事 阿部治

副代表理事 池田満之、重政子、竹内よし子

理事 浅川和也、伊藤通子、岩崎裕保、大島順子、大前純一、清水悟、新海洋子、
 杵本育生、関口悦子、世古一穂、辻英之、降旗信一、前川実、宮崎稔、森良、
 山本幹彦

<監事>

浅見哲、吉岡睦子

<顧問>

池田香代子、岡島成行、廣野良吉、坂本尚、CWニコル、松浦晃一郎、水野憲一、三隅佳子

2. 事業実施体制

地域ネットワークプロジェクトチーム (リーダー：森 良 サブ：新海洋子)
 政策提言プロジェクトチーム (リーダー：池田満之 サブ：岩崎裕保)
 研修事業プロジェクトチーム (リーダー：世古一穂 サブ：浅川和也)
 情報共有プロジェクトチーム (リーダー：清水悟 サブ：前川実)
 国際ネットワークプロジェクトチーム (リーダー：大島順子 サブ：竹内よし子)
 (AGEPP 担当：大前純一)
 その他の事業・・・・・・・・・・事務局

4. 組織基盤強化担当

広報プロジェクトチーム (リーダー：大前純一)
 財政基盤強化プロジェクトチーム (リーダー：重政子 サブ：大前純一)

5. 事務局

事務局長 村上千里
 スタッフ (常勤) 佐々木雅一
 (非常勤) 野口扶弥子、渡辺いずみ
 (アルバイト) 後藤究、+1名(新規採用予定)